

胃内視鏡検査の説明と注意点

胃内視鏡検査とは、口または鼻からカメラを入れ、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。必要に応じて色素散布を行う場合や、組織を採取し病理検査を行うこともあります。まれに出血・穿孔・誤嚥などの合併症が起こる場合があります。リスクが高いと判断された場合は検査を中止することもあります。施行医は日程により院長以外の信頼できる応援医師の場合もあります。

検査前日の準備

□前日の 21 時までに食事・服薬を済ませてください。

検査当日の準備

□当日は朝食を取らないでください。水・お茶は可。

□鼻をかんで清掃しておいてください。

□喫煙、糖尿病の注射は避けてください。

□服装はゆったりとしたものを着用してください。

□マニキュアや口紅は避けてください。

□鎮静剤を使用する場合は、ご家族の付き添いが必要で、検査日には検査後も自転車を含め運転することはできません。

検査中

□検査室に入室してから退室するまでの所要時間は 30 分程度です。

□実際に内視鏡が挿入されている時間は観察のみの場合でおよそ 3 分程度です。

検査後

□検査終了後は必要により点滴をすることや休んで帰って頂くこともあります。

□鎮静剤を使用した場合は 2 時間ほど経過観察のため個室日帰り入院になります。

□鎮静剤を使用した場合は帰宅後も運転は禁止です。

検査費用について

胃内視鏡検査のみ：約 4,000 円（3 割負担の場合）

胃内視鏡検査 + 生検（組織採取）：約 8,000 円（3 割負担の場合）

日帰り入院となった場合：約 4,500 円が追加されます。

胃内視鏡検査の当日に看護師より再度説明をさせて頂き、同意書を記載して頂きます。既往歴や内服歴や状態によっては当日の検査を中止する場合もありますのでご留意ください。
